



発行所
岡山県立笠岡高等学校
同窓会
岡山県笠岡市笠岡3073の2
事務局
☎ 0865 (62) 5128
印刷
(株) 正文社印刷所

「常識」は常に変化する

同窓会会長 浅野和志



千鳥会の皆様には、平素より同窓会活動にご協力を賜り誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの影響で四月からの千鳥会総会準備に向けた運営委員会を開くことができず、今年度の開催をやむなく中止することとなりました。同じく五月開催の東京支部総会、九月開催の近畿支部総会も全て中止となりました。当番幹事の皆様、東京支部、近畿支部はじめ役員、関係者の皆様、ご対応本当にありがとうございます。

今回の騒動で、各界の対応力が試されたように思えます。布製マスクの配布、各知事の対応、給付金支給、休業要請、在宅勤務、オンライン授業、東京の感染者数に一喜一憂するマスクミ等いろいろな対応に意見が分かれたかと思いますが、感染防止のためにそれぞれの立場の方が一生懸命考えて行動された結果で、それらを受け入れて順守した日本人の国民レベルの高さは間違いなく世界に誇れるものだと思認識しました。一つだけ驚いたのは「県境をまたぐ移動の自粛要請」でした。遠出をしないことを言いたかったのでしょうか、県境の笠岡で生活する人に「県境をまたいで移動するな」と言われても…。表現を考えて欲しかったと思っただけです。私一人でしょうか。また、今まで想像もしな

ち、今年我慢した分まで「常識」にとらわれず千鳥会を盛り上げていきたいと思えます。

「あいさつ」

校長 山崎淑加



千鳥会の皆様には、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

今春の異動で、鳥越信行前校長の後任として着任いたしました。名門の笠岡高校に勤務することができ、大変光栄に思っております。

新型コロナウイルスによる災害が広がるなか、感染拡大防止のために、岡山県立学校においても臨時休業の措置がとられました。本校においては、県下にさがけて、オンライン授業を展開し、生徒の学びを保障してきました。本校の先進的な取組が多く、メディアに取り上げられ

注目されています。

笠岡高校は今年度、創立一十九年目を迎えます。

長い歴史と伝統により培われた自由な校風の中、子どもたちは真摯に文武一道に励んでいます。その姿は、岡山県南西部の普通科進学拠点校としての進学実績や部活動の素晴らしい成果にも表れています。

多くの生徒が国公立大学へ進学し、部活動では、サイエンス部が中四国地区生物系三学会で最優秀賞を受賞、書道部が全国総合文化祭に出場、陸上競技部や山岳部が中国大会に出場を果たしました。また、今年度からボランティア部が復活し、生徒主体の地域貢献を積極的に進めています。

本校の校訓は「自律・友愛・創造」、学校教育目標は「志高く自らの人生と社会の未来を拓く人を育てる」です。この目標を実現するため、学校全体で体系的なキャリア教育に取り組み、「未来開拓力」の育成を目指しています。千鳥の学びで、大学の先にある社会を知り、自らの進路を拓く学びを深め、社会の中で自らの役割を果たしながら自分らしい生き方を実

現し、新しい価値を創造できる人になってもらいたいと考えています。

本校は、令和元年度入学生より進学重視型単位制に移行し、「未来開拓型カリキュラム」をスタートさせています。制度の移行による教員の加配を利用しながら、個に応じた少人数制の授業で、一人ひとりの学力を伸ばします。また、学校独自の科目を用意し、知識・技能を活用した思考力・判断力・表現力を養成しています。さらに、芸術系や体育系、生活系など多彩な選択科目があり、主体的な学習を行うことを可能にしています。令和三年度入学生からは、文系、理系を、「人文総合」、「理数総合」、「探究先進」の三つのコースに改編し、進路目的に応じたきめ細かな指導を充実させます。

千鳥で過ごす三年間で、生徒一人ひとりが夢に向かって全力で挑戦し、可能性を最大限に伸ばすことができるよう、教職員一丸となって、千鳥の新しいステージを創り上げていきます。千鳥会の皆様には、引き続き御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

東京支部総会報告

本年四月二日、新型コロナウイルス感染拡大の中、東京支部役員総意により、本年五月三十日に開催予定であった東京支部総会開催見送りを決定し、支部会員と来賓出席予定者の方々へ見送りのお手紙を発送しました。卒業後三十年目に当たる平成二年卒業生が本年の年度幹事となり、昨年から入念な準備をして頂いておりましたが、安全安心を最優先に判断した次第です。私は三月十五日にベトナム出張から帰国しましたがベトナムでは同月二十二日から外国人全ての入国禁止、同月二十八日にはロックダウン発令(勸告・要請)となりました。五月九日現在、感染者は二百八十八名、回復者は二百四十一名、死亡者ゼロとなり、旧暦正月明けの本年一月末から休校措置が取られていた学校も解除の見通しとなります。お国の違いはありますが、フック首相の「国民一人一人がコロナと戦う兵士です」と訴えられた成果が、明確に表れロックダウン緩和となります。

東京を中心に人口の集中する関東地方にお住まいの千鳥卒業生の皆さん、支部会員、ご家族の皆様がこの厳しい時を無事に健康で乗り越え、また次年度の東京支部総会に笑顔で再会出来ますように頑張りました。

最前線の医療従事者、関係者の皆様、物流など日常生活に欠かせない事業に携わる方々へ深く感謝と敬愛を申し上げます。

(東京支部長 佐藤 琢)

近畿支部総会報告

世代を超えて

— 令和に想う —

笠岡には寺や社が多い。狭い道を行けばすぐに寺社に行き当たる。笠岡を舞台にした小説伊東潤著「潮待ちの宿」は、この一節から始まります。

故郷の想い出と共に、青春時代を懐かしく思い起こす千鳥会近畿支部総会は、関西地方に甚大な被害をもたらした台風の影響で、二年ぶりの開催となりました。

記念すべき「令和」最初の近畿支部総会は、まだ残暑厳しい折、ホテル阪



千鳥会近畿支部総会

神にて開催されました。総会には本部から鳥越校長先生、浅野同窓会長を始め東京支部からは佐藤支部長にご参加頂き、無事に終了することが出来ました。

中でも懇親会では、後輩達の活躍ぶりや変わりゆく故郷の街並み、そして久しぶりの再会となった同窓生の近況報告等、時が経つのを忘れる程の盛り上がりでした。

「笠岡笠岡 ああわれら こゝにつどいて」校歌にも歌われている様に同じ学舎で青春時代を過ごした者同士が世代の壁を越えて語り合う、この素晴らしい体験を次世代に繋いでいく。この事が卒業生の大事な役割では

ないでしょうか。その為

にも、千鳥会近畿支部が各世代からの同窓生によって益々、賑わう会となつて欲しいものです。

最後になりましたが、今回の総会運営を担当する事になった私達に、作業内容を丁寧に教えて頂いた役員の皆様、そして前年の資料を基に貴重なアドバイスを頂いた山田さんに感謝申し上げます。(近畿支部 今城 政光)

部活動報告

令和年度

●陸上競技部

中国高校陸上競技大会 出場

中国新人陸上競技大会 出場

●山岳部

中国高校登山大会 出場

●ハンドボール部

岡山県高校総体

男子の部 ベスト8

●バドミントン部

岡山県高校総体

女子学校対抗 ベスト8

●書道部

全国高等学校総合文化祭

書道部門 岡山県代表

●美術部

岡山県高校生美術コンクール

金賞

●サイエンス部

サイエンスチャレンジ岡山

生物・地学分野 第2位

事務局よりお知らせ

1 令和2年度笠岡高校同窓会 千鳥会総会 中止

令和2年度笠岡高校同窓会千鳥会総会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止が決定しました。

次回は、令和3年7月25日(日) 笠岡グランドホテルにおいて開催予定です。

詳細は、決まり次第ホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。

2 笠岡高校同窓会(千鳥会)会員名簿 発行(令和3年6月発行予定)

令和4年の学校創立120周年を前に会員名簿の作成(改訂)を行います。

令和2年5月以降、印字内容について確認のための往復はがきをお送りしております。返信へのご協力をよろしくお願いいたします。

インターネット経由でもご返信いただけます。

(<http://www.mmjp.or.jp/dousokai/kasaoka/>)

3 千鳥教育ボランティア募集

笠岡高校では、学校での様々な活動に「千鳥教育ボランティア」としてご協力・ご活躍いただける方を募集しています。詳細は「笠岡高校 千鳥教育ボランティア」で検索してください。

令和2年度入試結果

◎国公立大学

九州3名、岡山11名、広島3名、鳥取5名、島根4名、山口7名、徳島1名、香川9名、愛媛9名、東京海洋1名、名古屋工業1名、京都工芸繊維2名、九州工業1名、長崎1名、東京都立1名、兵庫県立1名、岡山県立7名、福山市立7名、下関市立2名など

合格者合計96名

◎私立大学

法政1名、同志社4名、立命館7名、関西5名、関西学院5名、京都産業7名、龍谷4名、近畿9名、甲南5名、ノートルダム清心女子23名、就実28名、川崎医療福祉32名、広島修道3名、松山3名など

◎私立専門職大学・短期大学・専修学校・大学校

合格者合計273名

※合格者数は過年度卒を含むのべ数。